

三河商人道

PART
186

青年部とは 「人探し」



【会社・仕事への思い】

大学卒業後、名鉄百貨店の外商部で働いていたが、時代の流れとともに百貨店が衰退化。このままではいけないと思い、新たな仕事を模索していた時に、実弟が先に立ち上げており、金銭的なリスクも少ないビルクリーニング業を、最初は一緒に手伝うかたちで始めた。

30名以上のスタッフを抱え、忙しい日々をこなしていた時もあるが、時代の趨勢に左右されて事業を縮小化し、現在は今の事業に合わせ、他業種への進出も視野に入れ幅広く模索している。ビルメンテナンス業としての独自性は木(もく)を洗う、木の柱や、神社仏閣などをクリーニングできる技術を持っていること。

【青年部に入会されたきっかけ】

JC 卒業後、ロータリークラブやライオンズクラブからの入会の勧誘をお断りするためにいちばん面倒がなさそうな(!?) 青年部に入会した。

【思い出に残る青年部活動】

入会して次の年度に関わった事業が「ジュニアエコノミーカレッジ」であったので、やはり「ジュニアエコノミーカレッジ」が最も思い出に残っている。

入会3年目以降は「ジュニアエコノミーカレッジ」を担当する委員会の幹事として、また次の年度には委員長として携わり、委員長をしていた年度は、スタッフ会という名の飲み会(!?)を1週間に3~4日行うことにより、委員会がスムーズに進行するように取り仕切っていた。その時、「大人都合はなしにしよう」を合言葉に当時のジュニアエコノミーカレッジを担当する人づくり1委員会、人づくり2委員会合わせて約50名の委員会メンバーを取りまとめ、非常に内容の濃い事業であり、内容の濃い一年であった。

【趣味など】

ゴルフ、スキーなど体を動かし、アクティブに活動することが好き。ちなみに「飲むこと」もスポーツとして位置づけているのでかなり激しい飲み方をしている。ゴルフは今まで一番飛ばしたときは320ヤード、ベストスコアは77、ハーフは34、平均スコアは70代後半から100くらい。ゴルフに打ち込んでいた時は月に約3回コースに出て練習は週に5日、毎回400~500球打っていた。スキーはアルペンスキーをやっている、かなりスピードを出して滑っていた。また、1シーズンに2、3回は旅行として家族でも行っていた。そのため、息子さんたちもスキーはとても上手とのこと。大学時代にはテニスなど、さまざまなスポーツをやっていた。最近は大型バイクの免許を取得したので、仲間とツーリングに行ったりしている。

【青年部とは…】

一言で表すなら「人探し」。決して大きな企業の事業主ではないメンバーが多い中で、素晴らしい先輩方に巡り合い、かわいがってもらい、引っ張ってもらうことができた。そしてその諸先輩方を見習い、自分自身も少しでも思い、後輩を育てることを心にとめていた。青年部は分かりあえる仲間のいるところであると思う。だからこそ、青年部に入ったら、ぜひ、良き先輩・目標となる人を見つけ、人からかわいがられるような大人の礼儀作法を身につけて欲しい。



取材担当/
商人委員会
山本創、伊豫田悠佑、
鈴木友則、佐野真琴、
岡本ミカ、蒲野 功樹